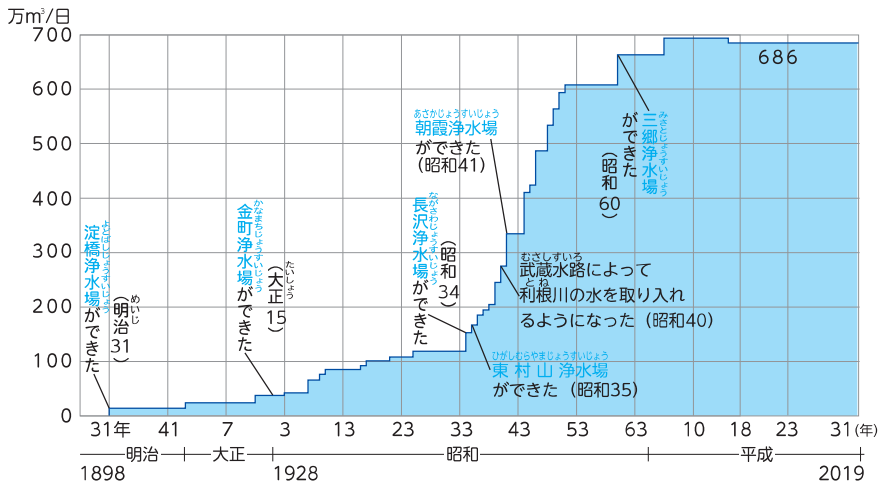


(4) たくさんの水をとどける

たくさんの水をわたしたちの所にとどけるために、水道局ではどのような仕事をしているのでしょうか。

● 水道水をつくることのできる量の移り変わり



淀橋浄水場は、昭和40(1965)年に役目を終えました。跡地には東京都庁や高層ビルなどが建っています。

水道局の人の話

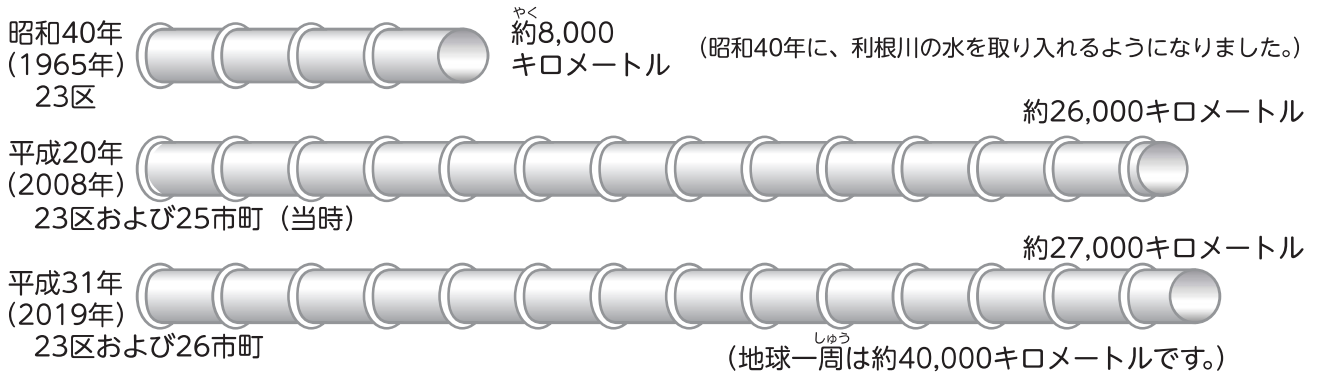


人口の集中などにより、必要な水の量が急増したため、浄水場の建設を進めました。現在、東京都で管理する浄水場は全部で11あります。

1日で、学校のプール約23,000はい分686万立方メートル(m³)の水をきれいにすることができます。

● 13、14ページの地図で浄水場をさがして、しるしをつけましょう。

● 東京都水道局の配水管を全部つなげたとすると… ◇配水管…給水所から水を送るための水道管



● 水が足りなくなったり、出なくなったりしないための工夫

水道局の人の話



浄水場できれいにした水は、給水所に送られます。

給水所では、水の使用量が少なくなる夜に配水池に水をたくわえ、たくさんの水を使う朝や夕方によく出せるようにしています。

また、水運用センターでは、24時間、送る水の量などを調整し、場所によって水の出が悪くなるようなことがないようにしています。



▲水運用センター